



安永という杉の木

代表取締役社長
安永 暁俊

いよいよ新年度が始まりました。今年は5名の
新入社員を仲間として迎え入れ、心よりうれしく
思っています。

今年度の事業計画がスタートしました。
会社全体の計画や目標は知ってはいるものの、
おそらく皆さんが最も関心あるのは、自分が職場
で抱えている身近な課題、問題だと思えます。加
えて、自分の部署の年度計画や事業部の年度方針
ではないでしょうか。

今回は、会社全体を見渡したときに、皆さんの
日々の行動が、どのように会社の大きな目標や大
事な使命につながっているのか話します。

安永は

時の課題を敏感に受け止め

独自の技術により

価値ある製品を提供し

社会文化の豊かさに貢献します

安永の企業理念について、私なりに次の通り解
釈します。

時の課題

時の課題とは、時代や時勢が要求する題目や問
題という意味です。

安永は創業以来、時代の流れや世の情勢に
多岐にわたる事業を営んでいます。

現在では、自動車、産業機械、電子・半導体、
太陽電池、環境機器等の幅広い業界に属し、様々
な分野のお客様と取引させていただいています。

独自の技術

独創とは、独自の発想で創り出すという意味
です。

独創的な技術とは、時の課題に
永独自の技術の開発や蓄積、研鑽のことです。

独創的な技術は、事業や製品によって変わります。
独自の視点で愚直に積み上げて、大きな原価
低減を量産部品で実現することや、独自に手がけ
た改良製品や新製品、新しい顧客や市場を創り出
すことです。

①心構えや価値観、行動指針を全員で共有し、
日常業務に取り組むことで、②事業目標を達成する
ことができ、③企業理念という使命を果たせます。

事業目標というと壮大に聞こえたり、企業理念
という抽象的に感じたりと、皆さんにとって身
近な言葉ではないかもしれません。

①心構えや価値観、 行動指針を共有し取り組む

そこで、まず始めに、皆さんが心がけること、
日常業務で気をつけることについて話します。

安永で働く一人ひとりが共有すべき心構え・価
値観、とるべき行動指針がいくつか定めてありま
す。全社的に、次の様な基本ルールがあります。

- ・5つのフライン(Fine)
- ・安永社員の行動規範(人権尊重、遵法精神等)
- ・基本方針(安全方針、品質方針、環境方針)
- ・私からお願い(挨拶、メモ取り、話すこと等)

これらを『安永WAY』と呼びます。

これらの全社的なルールに加え、各事業部で作
業標準や業務マニュアル等の日常ルールがありま
す。毎年つくる事業方針の中にも、心構えや価値観、
行動指針に関するものがあります。

皆さんの職場の中で、やるべきこと、やっては
いけないことが明確になっているので、日々の業
務に迷いなく取り組めると思います。

価値ある製品

価値とは、その事物がどのくらい役に立つかの
度合い、値打ちという意味です。

安永製品は、お客様から価値があると評価いた
だいてきました。今後、更に価値ある製品を提供
するよう取り組んでまいります。

ただし、気をつけるべきは、安永の部品や機械
それ自体に価値があるわけではありません。その
部品や機械が、お客様にもたらす効果や結果に価
値があるのです。

有名な例えで、お客様はドリルが欲しいのでは
なく、(ドリルであげた)穴が欲しいのだという話
があります。

同様に、超高速の加工機があったとして、お客
様はその機械本体が必要なのではなく、その機械
がもたらす価値、例えば、量産効果や省人化を必
要としているのです。

お客様の目線で見ると、価値ある製品を提供する
ことが必要です。

社会文化の豊かさ

社会文化の豊かさとは、自動車や電化製品、環境
機器等が人々の生活の中に入り込み、社会的・文化

②事業目標を達成する
次に、事業目標について話します。

目標とは、会社が思う将来の理想像、あるべき姿、
ありたい姿のことです。事業目標には、全社また
は各事業が掲げる、中長期または単年の目標とそ
の方針があります。

具体的な例でいうと、次の目標があります。

- ・『グローバルニッチNo.1』
- ・ゼロ災害などの安全目標
- ・不良率などの品質目標
- ・売上や利益などの収益目標
- ・新製品やコスト低減などの技術開発目標
- ・稼働率や多能工化などのものづくり目標

全社または各事業の方針を基に、各部署の目標
との方針が作成され、皆さんの目指すものがよ
り明確になります。

③企業理念という使命を果たす

最後に、普段はあまり馴染みのない企業理念に
ついて話します。工場や事務所に掲示されている
文言についてです。

企業理念とは、会社が果たすべき使命のこと
です。安永が、反社会的な活動をする事無く、利
益をあげて納税することで社会に貢献し、製品を
通じて社会文化に貢献していくことです。

この使命を果たすことで、社会に役立つことが
でき、企業は継続していけるのです。

的な存在となって暮らしを豊かにすることです。

有難いことに、日本だけでなく世界中で、安永
製品をご愛用いただいています。世界の人の豊
かさに、少しは貢献できていると思えます。

以上、私なりに説明してみました。とっつきに
くいと感じがちな企業理念について、少しでも親
しみを持ってもらえれば幸いです。

安永という杉の木

今までの話をまとめて、杉の木に例えます。③企
業理念という根幹があり、②事業目標という穂先が
あり、その間に①安永WAYがあります。

①安永WAYを共有し、日常業務に取り組むこ
とで、②事業目標という目的を達成できます。会
社が利益を出し継続すること、価値ある製品を提
供することで、③企業理念という目的も達成でき
るのです。

今回は会社全体を見渡して話をしました。
次回は、それぞれの事業が独自に育んできた、
心構えや価値観、行動指針などについて話します。

